

切入点新颖 · 关键词全面 · 联想法独到 · 自测题系统

# 巧记日语 核心词汇

# N2

N.JLPT

—— 文字 · 語彙 ——

郭 杰 主编

全面解读JLPT新题型  
巧妙归纳N2核心词汇  
联想记忆重点难点考点  
精准把握命题考点方向



电子科技大学出版社

# 电路 N2

文字·语言

电子科技大学出版社

## 内 容 提 要

本书不同于以往的词汇书按照五十音图排列的顺序,而是以 N2 读解训练为切入点,对 N2 核心词汇做了全面的解读分析,旨在既帮助读者顺利通过考试,又在潜移默化中养成日语思维方式。适合日语专业二年级学生、其他日语爱好者和 N2 级考生等使用。

### 图书在版编目(CIP)数据

巧记 N2 级核心词汇 / 郭杰主编. -- 成都: 电子科技大学出版社, 2011.2

ISBN 978 - 7 - 5647 - 0757 - 6

I. ①巧… II. ①郭… III. ①日语 - 词汇 - 水平考试 - 自学参考资料 IV. ①H363

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 015996 号

巧记 N2 级核心词汇

郭 杰 主 编

---

出 版: 电子科技大学出版社(成都市一环路东一段 159 号  
电子信息产业大厦 邮编:610051)

责任编辑: 徐 红

主 页: [www.uestcp.com.cn](http://www.uestcp.com.cn)

电子邮箱: [uestcp@uestcp.com.cn](mailto:uestcp@uestcp.com.cn)

发 行: 新华书店经销

印 刷: 北京市梦宇印务有限公司

成品尺寸: 111mm × 185mm 印张 17 字数 353 千字

版 次: 2011 年 2 月第一版

印 次: 2011 年 2 月第一次印刷

书 号: ISBN 978 - 7 - 5647 - 0757 - 6

定 价: 28.00 元

---

### ■ 版权所有 侵权必究 ■

◆ 本社发行部电话:028 - 83202463;本社邮购电话:028 - 83208003。

◆ 本书如有缺页、破损、装订错误,请寄回印刷厂调换。

# 前 言

新日语能力测试的检验标准是考查考生“实际应用中的语言能力”，也就是说要求考生要具备活学活用的能力。对于日语学习爱好者来说，死记硬背并不是硬道理，尤其是记忆词汇时这一点尤其明显。因为单纯背单词，的确有可能迅速扩大词汇量，在短时间内取得突破。但是用这种方法记单词，缺少语境理解，枯燥乏味，让人望而生畏。

编者通过多年的学习研究发现，通过阅读记单词才是事半功倍的最好办法。为此，我们特编写本书，目的是帮助读者实现既能语境理解，又能迅速扩充词汇。

本书既避免了死记硬背的枯燥性，也避免了泛泛地阅读浪费时间，而是通过精选、润色几十篇自然地、各种体裁的日语小文章，对其中常见的 N2 级别词汇的解读，使读者在短时间的阅读当中迅速扩充单词量，巧妙掌握 N2 级核心词汇。

本书词汇、阅读、语法、口语并举，而且克服了以往单纯罗列法枯燥无聊的缺点。每个词汇都经过了作者的精心分析和点拨，通过精选最典型的例句去进一步加深读者对词汇含义的理解，使之在提高应用能力的同时，获得应试能力的迅速提高。通过使用本书，读者不仅能记住词汇，还会发现自己的语法与语感同步增强，而这，正是 N2 级考试重点考查读者的内容。

由于编者水平有限，工作量大，尽管力求做到准确无误，但也难免存在一些错误之处，恳请读者在使用过程中提出宝贵的意见。

编者

2011年2月

# 目 录

健康と科学 .....	(1)
一、人間の体重二十四時間 .....	(1)
二、時計の針はなぜ右回りなのか .....	(7)
三、地球の話 .....	(17)
四、栄養と料理 .....	(23)
五、小鳥はなぜ歌うのか .....	(31)
六、健康をささえる環境 .....	(37)
七、昼寝のすすめ—短時間睡眠の不思議 .....	(39)
八、植物の育て方 .....	(48)
社会篇 .....	(53)
一、高齢化 .....	(53)
二、新たな社会現象る .....	(67)
三、学歴社会のジレンマ .....	(74)
四、むなしさ .....	(96)
五、釣りにかかわる仕事 .....	(106)
六、大林宣彦「なぜ若者は老人に席を譲らな くなつたのか」による .....	(111)
七、大活字化で新聞はどうなる .....	(117)
八、新版ごみから地球を考える .....	(123)
人生篇 .....	(130)
一、青年がすべきこと .....	(130)
二、読書力 .....	(134)
三、人間の魅力の育て方 .....	(146)

四、人と人との快適距離 パーソナル・ス ペースとは何か .....	(157)
五、工作中的父親 .....	(164)
六、働きざかりの心理 .....	(172)
七、忘れられる過去 .....	(181)
八、できる人 .....	(190)
九、マンガに教わる仕事学 .....	(196)
十、「勝間和代の人生を変えるコトバ」2009年 4月11日付朝日新聞による .....	(202)
十一、海底の静香へ .....	(207)
十二、学習が何のため .....	(210)
十三、とにかく他人に注意するな .....	(217)
十四、マイペースで生きていこう .....	(220)
十五、あなたは、絶対幸運をつかめる .....	(226)
<b>生活篇</b> .....	(232)
一、心くばりの話しことば .....	(232)
二、看護婦さん、電話ありましたか .....	(247)
三、毎日が科学の日 .....	(258)
四、免許のエピソード .....	(272)
五、電話 .....	(286)
六、子供の授業 .....	(297)
七、メモの技術 .....	(300)
八、知人の話 .....	(308)
九、隣の住人 .....	(313)
<b>文化篇</b> .....	(322)
一、異文化 .....	(322)
二、日本人の生活 .....	(338)
三、日本人と水 .....	(354)

四、納豆の豆知識 .....	(361)
五、日本のクリスマス .....	(374)
六、きれいな日本語 .....	(383)
七、中日両国のお正月 .....	(391)
八、日本のお正月 .....	(402)
九、世界に誇る日本の温泉 .....	(411)
十、日本人の職業観 .....	(418)
十一、日本人の姓はなぜこんなに多いのか .....	(431)
十二、鬼は内、福は外 .....	(438)
<b>新聞・雑誌・手紙文など正式な文章 .....</b>	<b>(447)</b>
一、体が語るコトバ .....	(447)
二、口蹄疫(こうていえき) .....	(457)
三、手紙文(1) .....	(459)
四、手紙文(2) .....	(466)
五、サイアス .....	(469)
六、税金 .....	(475)
七、出来事 .....	(479)
八、アンさんの日記 .....	(483)
九、ブレイク新聞 .....	(487)
十、実践 マナー塾 .....	(490)
十一、陰山英男子供と伸びる .....	(494)
十二、雑誌のコラム .....	(501)
十三、公式な場における手紙文 .....	(507)
十四、掲示内容 .....	(512)
十五、全国の携帯電話契約数、 8.42億件超 .....	(519)
十六、日本年末年始の消費動向 .....	(525)



## 健康と科学

一、人間の体重と二十四時間

私たちが物を食べたとき、その前と後で私たちの体重はどのように変化するのだろうか。例えば、いま100グラム①のくだものを食べたとして、体重は何グラムふえるだろうか。答えは100グラムである。あたり前じゃないかと怒ってはいけない。それは食べたすぐ後の話なのだ。では、食べてから時間がたったらどうなるだろうか。

今から380年ほど前、あるイタリアの学者が、食べ物の重さと体重の関係を知るために、自分の体を使って体重の変化をこまかく調べた。まず、人間が乗ることのできる大きなはかり③を特別に作り、その上に何日間もすわりつづけて、食べたり飲んだり、大便や小便をしたりした。そして、そのたびに体重の変化をていねいに計って調べたのである。

最初、その学者④が考えたのは、食べたり飲んだりした物の重さから、外に出した大便や小便の重さを単純に引き算②した分だけ体重はふえるだろう、ということだった。ところが、実験をしてみた結果、彼が考えていたほど体重はふえなかったのである。彼は実験に間違いがあったのかもしいないかと思っ





おしてみたが、結果はやはり同じだった。彼は困って  
 しまった。おそらく、食べ物や飲み物の一部は、何か目  
 には見えない物となって体の外へ出て行ってしまった  
 のだろう、結局、彼はそう考えた。そう、彼は間違っ  
 ていなかった。

では、その目に見えない物となって出て行ったの  
 は何か。一つは汗である。人間の体からは、たとえじ  
 っとしていても、一日に1kg 近くの汗が外に出ていく。  
 この汗①のことについてイタリアの学者も考えてい  
 いた。もう一つは息①を吐く①ときに出る炭酸ガス、つ  
 まりCO<sub>2</sub>だ。これは彼の時代よりずっと後になって、あ  
 るイギリスの学者が調べたことだが、体重 68kg の人は  
 一日に約 0.7kg の酸素①(O<sub>2</sub>) を取り入れ④④て約 0.  
 82kg のCO<sub>2</sub> を出しているという。つまり、人間の体重  
 は、呼吸④をするだけで、一日に約 0.12kg ずつ減って  
 いくことになるわけである。

大変な苦勞をして実験をした学者も、残念ながら、  
 このことにまでは気がつかなかった。そのころは、空  
 気はただ空気とだけ考えられていて、O<sub>2</sub> や CO<sub>2</sub> などい  
 ろいろな気体からできているとは考えられていなかった  
 からである。

たいじゅう

体重

①

〈名〉

[日]からだの重さ。からだの目方。

[中]体重

◆片足に体重をかける。/把体重负担在  
一只脚上。



グラム

①

〈名〉

gram。克、国际单位制的质量单位

◆1グラムは1キログラムの1000分の1。/  
一克等于一千克的千分之一。はかり  
秤

③

〈名〉

[日]物の重さをはかる道具。

[中]称、衡器

◆秤にかける。/放在称上称重量。

がくしゃ  
学者

①

〈名〉

[日]学問の研究を仕事としている人。  
学問のある人。知識のある人。

[中]学者、有学問の人

◆この説が有名な学者に提出されたの  
だ。/这个学说是知名学者提出来的。ひ ざん  
引き算

②

〈名・サ変自〉

[日]ある数から他の数を引いて残りを  
求める計算。減法。

[中]减法

た ざん  
足し算

〈反対語〉

[日]ある数に他の数を足して合計を求  
める計算。寄せ算。加え算。

[中]加法

◆小学校のとき引き算と足し算を勉強



した。/小学的时候学习了加减法。

あせ  
汗

①

〈名〉

[日]皮膚の汗腺(かんせん)から分泌される液。興奮・恐怖などの精神的影響からも手のひらや足の裏などに分泌する。

[中]汗、从哺乳类动物的汗腺排出的分泌物

◆手に汗を握る激しいレース/让人捏一把汗的比赛

いき  
息

①

〈名〉

(1)[日]口・鼻から空気を吸ったり吐いたりすること。また、吸う空気や吐く空気。

[中]呼吸、动物用口鼻呼出和呼入的空气

◆大きく息をする。/大口喘气。

◆息が荒い。/呼吸困难,气喘。

(2)[日]二人以上で何かをする場合の、相互の気持ちのかねあい。調子。呼吸。

[中]数人共同行动的步调

◆二人の息がぴったりだ。/两人步调一致。



は  
吐く

①

〈動〉

(1) [日] 口の中のを外に出す。

[中] 呕、吐

◆つばを吐く。/吐唾沫。

(2) [日] 胃や肺の中のを口・鼻から外へ出す。中にたまったものを外部へ出す。

[中] 呼、噴、排

◆血を吐く。/噴血。

◆息を吐く。/呼气。

◆煙突から煙を吐く。/烟筒里冒烟。

(3) [日] 心の中のことを言葉に出す。

[中] 说出、吐露

◆本音を吐く。/吐露真心话。

◆弱音を吐く。/说泄气话,示弱。

さんそ  
酸素

①

〈名〉

[日] 酸素族元素の一

[中] 氧、氧气

◆酸素は自然界で最も含量の多い元素である。/氧为自然界含量最多的元素。

と い  
取り入れる

①④

〈動〉

(1) [日] 外にあるものを取って中に入る。とりこむ。

[中] 收进、拿入、放入



◆養分を体内に取り入れる。/摄取养分进入体内。

◆洗濯物を取り入れる。/把晾晒的衣物收进来。

(2)[日]他のよい点を採用する。

[中]引进、吸收、导入

◆外国の文化を取り入れる。/吸收外国文化。

(3)[日](「穫り入れる」とも書く)農作物を収穫する。とりいれをする。

[中]收割、收获

◆麦を取り入れる。/收割麦子。

こきゅう  
呼吸

④

〈名・サ変自〉

(1)[日]息を吸ったり吐いたりすること。

[中]呼吸

◆呼吸を整える。/调整呼吸。

(2)[日]共に動作をするときの互いの調子。息。

[中](合作时的)步调(节奏、心情)

◆二人の呼吸が合う。/两人节奏合得来。



## 二、時計の針①はなぜ右回りなのか

見慣れ①たはずの時計でも、よく見ると不思議なことがたくさんある。たとえば、時計の文字盤は12時から始まっているのはなぜか。結論から先にいうと、時計が考案された(紀元前(注1)3000~4000年)のが、人類①がゼロを発見する(8~9世紀)よりも先だったからといわれている。

「しかし、数字は連続①性からいえば、午前12時59分の次に1時が来るのはおかしいので、文字盤の頂点①は「ゼロ」にすべきだとする考え方もある。日本では混同(注2)を避ける②ため、新聞やテレビ、そして日本時計学会のデジタル時計の表示などでは0時表記を優先(注3)させているものの、時計の文字盤そのものをゼロにしようという動きにはなっていない。

(中略)

また、文字盤のローマ数字はIVでなく、Ⅲが使われる。これはフランスのシャルル5世が建設①中の時計を見て、「文字盤のIVはVからIを引くことになり縁起(注4)が悪いのでⅢにせよ」と指示①を出したのが後世に引き継がれた(注5)、とのエピソード(注6)がある。Ⅲは正式①なローマ数字には見当たらないもので、時計の文字盤だけに用いられる。

右回りにしろ、12時から始まることにしろ、ローマ数字の表記のしかたにしろ、世界中の時計に徹底①されているのが興味深い。(中略)

時計のアナログ文字盤を応用①すると、方角を指示するときにも便利だ。船に乗っているときに進行方



向を12時と考え、「3時方向にクジラを発見!」と声を出せば、それだけで、ほとんどの人がクジラを見つけることができるだろう。

時計はたんに時刻①がわかればよい、とする計測機器ではない。見やすさと美しさを兼ね備え②ていなければならない。12を0に変えない理由、ⅢをⅣにしない理由、それらは時計職人たちの怠慢(注7)の結果ではなく、時計としての完成②度を維持①するために受け継がれている大切な要素①なのではないだろうか。

(注1)紀元前:B. C. 西暦元年(1年)より前

(注2)混同:区別しなければならないものを、間違えて同じにすること

(注3)優先:ほかよりも先にすること

(注4)縁起が悪い:何か悪いことが起こりそうな気がする

(注5)引き継ぐ:前の人が出したことを受け取って後に伝える

(注6)エピソード:興味深い短い話

(注7)怠慢:なまけること

はり  
針

①

〈名〉

(1)[日]布などを縫う、細くて先のとがった金属製の道具。一方のはしに糸を通す穴(めど)がある。縫い針。また、布を刺して留めるための穴のない留め針・待ち針もある。

[中]針、縫針



◆針で縫う。/用针缝。

◆針に糸を通す。/穿针线。

(2) [日]時計・計器の目盛りを指し示すもの。

[中]计数器、钟表等指示刻度的针

◆磁石の針/磁铁针

◆時計の針/钟表指针

(3) [日]裁縫。おはり。

[中]裁缝、针线活

◆針を習う。/学习裁缝。

(4) [日]感情を刺激すること。害意。

[中](话中)带刺、(看法等)伤害对方感情

◆言葉に針を含む。/话中带刺。

みな  
見慣れる

①

〈動〉

[日]何度も見てよく知っている。なれ親しむ。親しく交わる。

[中]看惯

◆ラッシュアワーの見慣れた光景/交通高峰期看惯了的景象

◆見慣れない顔/看不惯的脸

じんるい  
人類

①

〈名〉

[日]人間。ひと。動物学上は、脊椎動物門哺乳綱霊長目ヒト科に分類される。





## [中]人类

- ◆人類とほかの動物の区別/人类和其他动物的区别

にんげん  
人間

①

〈類義語〉〈名〉

(1) [日]ひと。人類。

[中]人、人类

- ◆人間の歴史/人类历史

(2) [日]人柄。また、人格。人物。

[中]性格

- ◆人間がいい。/人品好。

- ◆人間ができている。/性格形成。

(3) [日]人の住む世界。人間界。世の中。じんかん。

[中]人类社会、世间

れんぞく  
連続

①

〈名・サ変自他〉

[日]切れ目なく続くこと。また、続けること。

[中]连续、持续、连接不断

- ◆不祥事が連続する。/坏事接二连三。

- ◆三日連続/连续三天

ちょうてん  
頂点

①

〈名〉

(1) [日]いちばん高い所。いただき。てっぺん。

[中]顶点